

支えあいのまちづくり協議体(京橋地域)実施報告

中央区に住む方・働く方ができる支えあいの形について、身近な地域で話し合う「支えあいのまちづくり協議体(第2層協議体)」の令和6年度第1回目を、京橋地域で開催しました。

1 実施日

令和6年5月29日(水)10:00~11:30

2 出席者

日頃高齢者と関わる機会の多い地域住民、関係機関、生活支援コーディネーター 8名

3 内容

- ・出席者近況報告
- ・意見交換 ①今後の取り組みについて
②広報紙「きらきらいふ京橋人~ゆるっとつながる~」第7号について

4 出席者近況報告

5 意見交換 ①今後の取り組みについて

意見交換を行い、以下の意見があがった。

- ✓ 広報紙も掲示板に貼るだけで良いのか。
- ✓ マップ作りを通して資源があることは分かった。ただ、それをどう生かすのか目的が見えづらい状況。もう少し目的や対象を明確にした方が良いのでは。
- ✓ 『対象に対して協議体は何かをするのではなく、どう活動を促進していくのか。京橋地域で住民の方々に何が足りていないのか、何に困っているのかに対して、その解決策としてささえあいの活動をどういうものが生み出せるのか、すでにあるものなのか、繋ぐことができるのか。』を考えていく方が良いのではないか。
⇒中央区、特に京橋地域は買い物をする場所が少ない。宅配や遠くまで買いに行かないといけないため、その方たち向けのお買い物マップとかはどうだろうか。そうすれば買い物のためにヘルパーを依頼する必要もなくなる。
⇒宅配サービスに特化したマップ作成や買い物に困っている人たちがお互いに助け合う買物の『お手伝い活動』の立ち上げも考えられる。
⇒築地市場も近いので、協力をして中央区独自の宅配サービスを作るのはどうだろうか。
- ✓ 情報の一本化は必要。
⇒すでにある活動の再確認となる。
- ✓ 中央区は活動を“やりたい”という人より“やっているところに乗っかりたい”という人が多いイメージ。ささえあいの活動も同様に“やってもらいたい”という人はいるが“やってあげたい”をどう育てていくかが今後の課題。
- ✓ 受け身になっている人もいずれは担い手側になってもらえるような仕組みづくりも必要なのである。

- ✓ 支えあいのまちづくり協議体の話し合いが区政につながるよう、行政とももっと連携して取り組みたい。
- ✓ 宅配サービス等をマップに落とし込み、それをきらきらいふの記事として情報提供をするのはどうか。
- ✓ 厚生労働省のホームページに全国各地の事例を紹介している資料がある。それらを共有する回が合っても良いのではないか？
⇒次回の協議体までに各自で調べ共有することとなった。

意見交換 ②広報紙「きらきらいふ京橋人～ゆるっとつながる～」について

- ・これまでの YouTube 閲覧数の共有
⇒SNS への発信が少ないことが原因か…?YouTube を見に行く入口を増やした方が再生数は伸びると思う。
- ・Xなどの SNS で発信してもよいのでは。
- ・取材先は快諾していただきアラジンで決定。紙面の作成は引き続き行い、インタビュアーは五郎丸氏が担当することとなった。⇒インタビュー日:6/25(火)で調整。

7 今後のスケジュール

次回開催日は 7/30(火) 10:00~11:30 場所:ツキチカ!で決定。今後の取り組みについてや、ツキチカ!での取り組みについて意見交換をする予定。

<参考> 意見交換の様子

